

「平成 19 年 8 月隠岐豪雨災害から 10 年」事業 シンポジウム  
 ～ これからの備えを考える ～  
 シンポジウムプログラム 概要版

日時：平成 29 年 8 月 20 日(土) 12:30～16:30 会場：隠岐島文化会館(隠岐の島町西町吉田の二)

1 防災体験コーナー



パネル展  
(災害・防災活動など)



模型実験  
(土石流・地すべり)



模型実験  
(雨量計)



救命救急実演  
(AED など)



防災用品展示  
(備蓄品など)



協賛イベント  
(ドローン飛行など)

2 オープニングセレモニー



演奏 隠岐高校 吹奏楽部  
 曲目 ①マーチ・シャイニング・ロード ②LUCKY STAR  
 ③明日はきっといい日になる



3 オープニング

- ①主催者挨拶  
 島根県隠岐支庁長 室崎 隆司  
 隠岐の島町長 池田 高世偉



- ②来賓  
 島根県議会議員 吉田 雅紀  
 隠岐の島町議会議員 石田 茂春  
 松江地方気象台長 宮田 洋

4 講演



演題 気象災害に備える…記憶と想像を生かす  
 講師 山根 収 氏  
 (TSK 山陰中央テレビ アナウンサー・気象予報士)

5 パネルディスカッション



テーマ 地域で取り組む防災とは  
 コーディネーター 山根 収 氏  
 (TSK 山陰中央テレビ アナウンサー・気象予報士)  
 パネラー  
 竹林 美清 氏(前 大久区長)  
 藤井 俊逸 氏(株)藤井基礎設計事務所 代表取締役社長)  
 勝野 尚直 氏(島根県防災部 防災危機対策監)  
 池田 高世偉 氏(隠岐の島町長)

6 閉会



閉会挨拶  
 実行委員長 堀江 広人  
 (隠岐支庁 県土整備局長)

## 出演者発言要旨

### 1 講演

講演では、「気象災害に備える…記憶と想像を生かす」と題して、TSK 山陰中央テレビのアナウンサーで気象予報士の山根収氏より、平成 19 年 8 月隠岐豪雨災害や平成 26 年 8 月広島豪雨災害の取材映像や、地球温暖化に関わる講演があり、災害に備えて記憶と想像力を生かす大切さについて講話があった。



### 2. パネルディスカッション

講演を頂いた山根収氏をコーディネーターに迎え、4 名のパネラーが参加し、「地域で取り組む防災とは」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネラーの方々のこれまでの実体験を交えながら、災害への備えをどう進めていくか議論が行われた。

#### 竹林 美清 氏 (前 大久区長)



災害当時の状況・対応や、その後の自主防災組織の取組みを紹介。今後の課題として、住民間の防災意識の温度差などを指摘。

#### 勝野 尚直 氏 (島根県防災部 防災危機対策監)



広島豪雨災害での災害派遣の経験や災害に備えた住民組織づくりの事例を紹介。課題を明確にしながら防災訓練などに取組む必要性を指摘。

#### 藤井 俊逸 氏 (株)藤井基礎設計事務所 代表取締役社長)



豪雨災害の特徴や防災学習会等の取組みを紹介。多世代で地域防災を考えること、地域と建設業が協力して災害に備えることの大切さを指摘。

#### 池田 高世偉 氏 (隠岐の島町長)



防災学習や防災訓練への支援等、災害後の防災力向上について紹介。自主防災組織率の向上等、防災に直結する実践活動の重視について説明。